

中部横断道猛禽類保全検討委員会
(平成29年度)
議事概要

1. 日 時：平成29年11月28日（火）14：00～16：00

2. 場 所：国土交通省甲府河川国道事務所 第一会議室

3. 出席者

【委員長】 阿部 學 NPO法人日本猛禽類研究機構 理事長

【委員】 中村 司 山梨大学 名誉教授

柳澤 紀夫 （公財）山階鳥類研究所 評議員

青木 進 山梨県猛禽類研究会 会長 （欠席）

【オブザーバー】村山 力 山梨県 森林環境部 みどり自然課長

（代理：鈴木 三枝子 副主幹）

【事業者】 国土交通省 甲府河川国道事務所

山梨県県土整備部 高速道路推進課

4. 議 事

（1）前回検討委員会の概要

（2）平成29年度の繁殖状況及び営巣木周辺の工事と猛禽類への影響検討

（3）開通後の影響評価

（4）調査・保全対策の方針

（5）今後の委員会予定

5. 結 果

・平成29年1月～9月における生息状況調査の報告を行った。

・今年度実施工事による猛禽類への影響は確認されないことについて了承された。

・開通後の影響評価については、次年度に調査計画をとりまとめる。

・次年度の調査・保全対策の方針及び今後の委員会予定について了承された。

（主な意見）

・猛禽類への工事影響を評価するには、生息の実態を把握することが重要であり、定量的な評価が可能なGPS調査等が有効である。

・開通後の評価を確実に進めること。

・猛禽類の生息実態を把握することは、環境保全の観点から非常に重要であり、他の公共事業にも参考となることから、今後も継続して事業影響の定量的な評価を進めて欲しい。